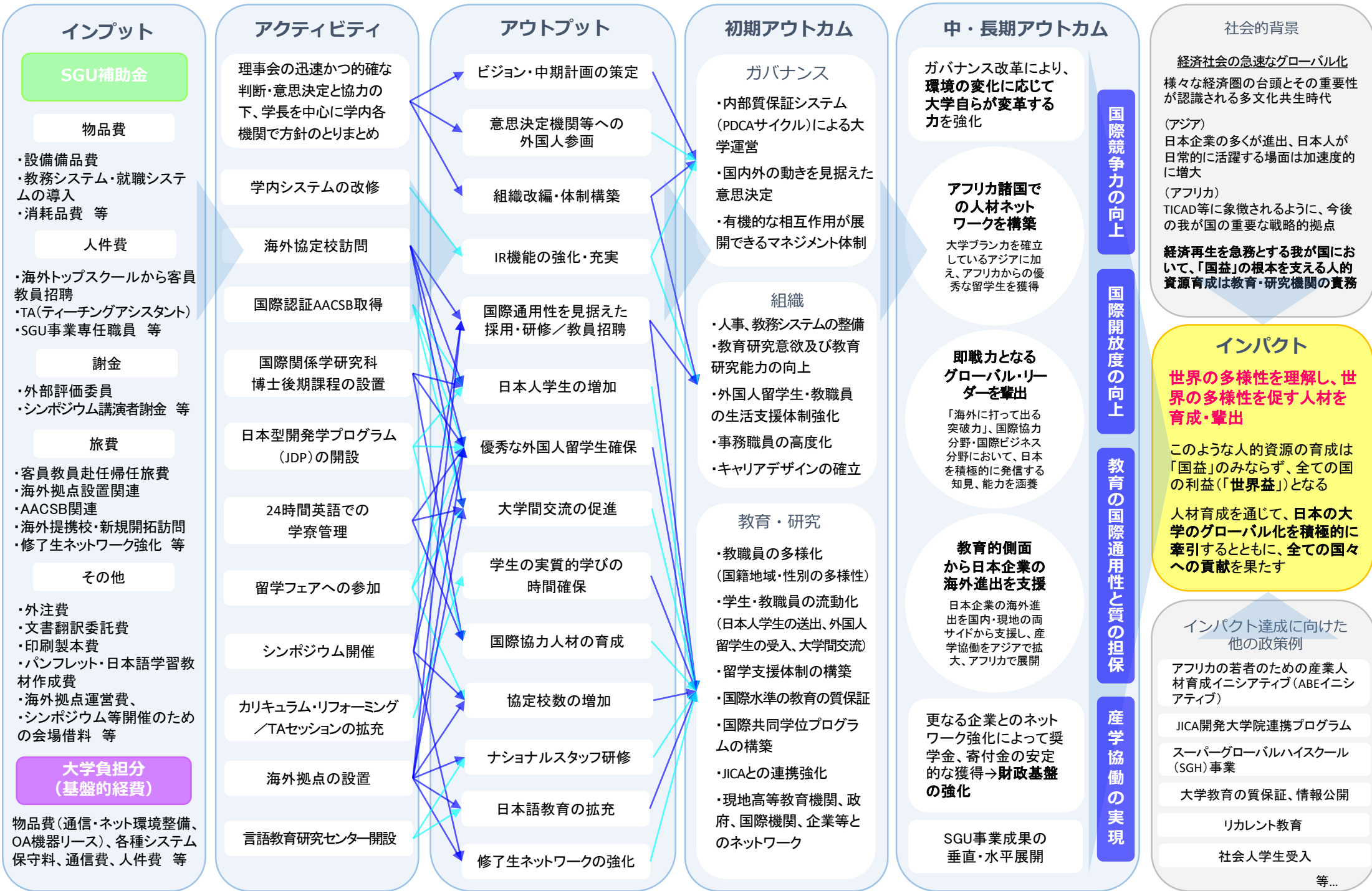


# 国際大学 スーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業 ロジックモデル

## IUJ Evolution –アジアのグローバル・スタンダードを世界水準へー



### インプット

SGU補助金

物品費

- ・設備備品費
- ・教務システム・就職システムの導入
- ・消耗品費 等

人件費

- ・海外トップスクールから客員教員招聘
- ・TA(ティーチングアシスタント)
- ・SGU事業専任職員 等

謝金

- ・外部評価委員
- ・シンポジウム講演者謝金 等

旅費

- ・客員教員赴任帰任旅費
- ・海外拠点設置関連
- ・AACSB関連
- ・海外提携校・新規開拓訪問
- ・修了生ネットワーク強化 等

その他

- ・外注費
- ・文書翻訳委託費
- ・印刷製本費
- ・パンフレット・日本語学習教材作成費
- ・海外拠点運営費、
- ・シンポジウム等開催のための会場借料 等

大学負担分(基盤的経費)

- 物品費(通信・ネット環境整備、OA機器リース)、各種システム保守料、通信費、人件費 等

### アクティビティ

理事会の迅速かつ確かな判断・意思決定と協力の下、学長を中心に学内各機関で方針のとりまとめ

学内システムの改修

海外協定校訪問

国際認証AACSB取得

国際関係学研究科博士後期課程の設置

日本型開発学プログラム(JDP)の開設

24時間英語での学寮管理

留学フェアへの参加

シンポジウム開催

カリキュラム・リフォーミング/TAセッションの拡充

海外拠点の設置

言語教育研究センター開設

### アウトプット

ビジョン・中期計画の策定

意思決定機関等への外国人参画

組織改編・体制構築

IR機能の強化・充実

国際通用性を見据えた採用・研修/教員招聘

日本人学生の増加

優秀な外国人留学生確保

大学間交流の促進

学生の実質的学びの時間確保

国際協力人材の育成

協定校数の増加

ナショナルスタッフ研修

日本語教育の拡充

修了生ネットワークの強化

### 初期アウトカム

ガバナンス

- ・内部質保証システム(PDCAサイクル)による大学運営
- ・国内外の動きを見据えた意思決定
- ・有機的な相互作用が展開できるマネジメント体制

組織

- ・人事、教務システムの整備
- ・教育研究意欲及び教育研究能力の向上
- ・外国人留学生・教職員の生活支援体制強化
- ・事務職員の高度化
- ・キャリアデザインの確立

教育・研究

- ・教職員の多様化(国籍地域・性別の多様性)
- ・学生・教職員の流動化(日本人学生の送出、外国人留学生の受入、大学間交流)
- ・留学支援体制の構築
- ・国際水準の教育の質保証
- ・国際共同学位プログラムの構築
- ・JICAとの連携強化
- ・現地高等教育機関、政府、国際機関、企業等とのネットワーク

### 中・長期アウトカム

ガバナンス改革により、環境の変化に応じて大学自らが変革する力を強化

アフリカ諸国での人材ネットワークを構築

大学プランカを確立しているアジアに加え、アフリカからの優秀な留学生を獲得

即戦力となるグローバルリーダーを輩出

「海外に打って出る突破力」、国際協力分野・国際ビジネス分野において、日本を積極的に発信する知見、能力を涵養

教育的側面から日本企業の海外進出を支援

日本企業の海外進出を国内・現地の両サイドから支援し、産学協働をアジアで拡大、アフリカで展開

更なる企業とのネットワーク強化によって奨学金、寄付金の安定的な獲得→財政基盤の強化

SGU事業成果の垂直・水平展開

### 社会的背景

経済社会の急速なグローバル化  
様々な経済圏の台頭とその重要性が認識される多文化共生時代

(アジア)  
日本企業の多くが進出、日本人が日常的に活躍する場面は加速的に増大

(アフリカ)  
TICAD等に象徴されるように、今後の我が国の重要な戦略的拠点

経済再生を急務とする我が国において、「国益」の根本を支える人的資源育成は教育・研究機関の責務

### インパクト

世界の多様性を理解し、世界の多様性を促す人材を育成・輩出

このような人的資源の育成は「国益」のみならず、全ての国の利益(「世界益」となる

人材育成を通じて、日本の大学のグローバル化を積極的に牽引するとともに、全ての国々への貢献を果たす

### インパクト達成に向けた他の政策例

アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)

JICA開発大学院連携プログラム

スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業

大学教育の質保証、情報公開

リカレント教育

社会人学生受入 等...

国際競争力の向上

国際開放度の向上

教育の国際通用性と質の担保

産学協働の実現